

確かな安心を、いつまでも

「このまちを、私がつなぐ」明治安田生命の取り組み



信頼され、選ばれ続ける

明治安田生命は、今、持続可能な社会の実現にむけて「2」大プロジェクトに取り組んでいる。人生100年時代の健康づくりをサポートする「みんなの健活プロジェクト」、地域がいつまでも活気あふれる場所であるように持続的な発展をサポートする「地元元気プロジェクト」がそれだ。この「2」大プロジェクトの背景、込められた思い、さらにこの取り組みを通して生まれた新たな活動や商品について、明治安田生命神奈川本部長の岸本司郎さんに伺った。

「現在推進中の「2」大プロジェクトがあります。はりに向けた包括的な連携を進めています。地域に暮らす幅広い層の健康に貢献し、地域が抱えるそれぞれの課題への取り組みにも、これらの自治体との連携は大きな推進力になります。」

「これからの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）ともつながりますね。SDGsには17の目標がありますが、私たちがこれまで蓄積してきた情報やお世話になってきた地域の方々のつながりの中で、もともと力が発揮できるのが「健康増進」そして「地方創生」への貢献です。これはSDGsの目標「すべての人に健康と福祉を」そして「住み続けられるまちづくり」にもつながります。タイトルパートナーであるJリーグの各クラブチームともこれらの取り組みを強めていますが、自治体との包括連携により、「健康」を

「人生100年時代」、健康ニーズも高まっています。一方2人に1人が「がん」になる時代。保険の果たす役割はどのように変化してきていますか。2019（令和元）年に「がん対策基本法」が改正され、内のがん罹患率の高さが背景にあります。保険の果たす役割は、まずは、罹患した方の経済的負担の軽減です。進歩するがん治療を安

がん保険の新たな方向

「人生100年時代」、健康ニーズも高まっています。一方2人に1人が「がん」になる時代。保険の果たす役割はどのように変化してきていますか。2019（令和元）年に「がん対策基本法」が改正され、内のがん罹患率の高さが背景にあります。保険の果たす役割は、まずは、罹患した方の経済的負担の軽減です。進歩するがん治療を安

心して受けられる、それを支えるのが「がん」をテーマにした保険商品の目的です。また、ご加入のお客さまにセカンドオペニオンのサービスを提供したお返しとして、がん検診を促すような特典を付加したのです。検診の結果、罹患していただくと給付金は支払われます。「健康であることにお金が支払われる」。逆転の発想ですが、がんに対する意識の向上を促し、それをきっかけに、検診率の向上も期待できるのではないのでしょうか。がんは早期発見が何より大事であり、定期検診を確実に、ことごとく、自分を守ることもつなぐことができます。この保険はその思いをサポートする、これから保険の新たな方向性を示すものだと思います。――検診率の向上を見据えた、活動は以前からあったのですか。こうした取り組みは以前から行っています。3年前には第一弾となる「健康サポート・キャッシュバック特約」を発売しました。この活動に携わります。



「大人の塗り絵コンクール」で高齢者を応援：認知症予防など、高齢者への支援として取り組む「大人の塗り絵コンクール」を全国で展開。お年寄りの見守りにもつながり、自治体との連携で高齢者施設に無料での配布を実施している。



地域の気になる情報を発信：左上は神奈川本部のスタッフが調べたさまざまな情報を地域に届ける媒体「カナしら」。ネーミングの由来は「カナガワ本部しらべ」の略。県内をはじめ、町田、西伊豆までテリトリー内の気になる情報を発信している。企業の健康づくりをアシスト：右と左下は、自身の健康状態を知ってもらい、改善のきっかけにもらうために地元企業の社員向けに配布しているチラシ。個人のカードを手作りし、四半期に一回はチェック！と健康づくりをサポートしている。

地域とのさらなる絆を

「健康」を通して、地域社会とのつながりを築くための取り組みを考えていますか。今年10月から全国的に展開する取り組みに「コミュニティワーカー活動」があります。また、健康増進型保険「ベストスタイル健康キャッシュバック」が県の「MEIBYO BRAND 認定商品・サービス」に認定されました。「がん検診支援給付金付女性がん保障特約」についても9月に認定をいただく予定です。さらに、このたび日本赤十字社神奈川県支部さまと協定に基づき、人々の健康・福祉を支え、持続可能な希望に満ちた社会づくりへの活動に協働で取り組むことになりました。健康づくり、地域づくりに向けた取り組みは、大きく広がっています。今、「2」大プロジェクトのさまざまな具体的な取り組みが生まれています。その多くは若手、特に女性スタッフによる発案です。2つのプロジェクトを通して地域に貢献するよう、本部内に広く浸透してきたことを強く実感しています。

明治安田生命保険相互会社 常務執行役員 神奈川本部長

岸本 司郎さん

「がん検診」という商品の「がん検診支援給付金付女性がん保障特約」というものです。子宮頸がんや乳がんなど女性のがん罹患率が高い一方、最大約1カ月分の保険料をキャッシュバックするという特約です。このような取り組みは健康を維持するモチベーションにもつながる。そして、お客さまの健康に貢献することができ、企業としての発展を目指すことにもつながると考えています。*内閣府男女共同参画局による「国生活基礎調査」から得られた健康に関する実態（特別集計）2016年度のデータを参考。

明治安田生命

ふたりは、双子なんです。寝る間もなくミルクをあげてた頃は、大変だった。妹は、がんばり屋。運動会の前には、パパと特訓をする。鉄棒は、手にママができて、成功するまでやる。兄は、マイペース。鉄棒も、落ちるともうやらない。スポーツも、勉強も、妹は負けず嫌いだ。兄は、勝ちたいかと思っていけないみたい。でも、妹が、男の子にいじめられた話をしたときには、「ばくが、言い返してやるよ」とキッパリ。最近、ふたりでママの看病をしてくれた。子育ての苦労は、倍。でも、それ以上の喜びを感じている。しあわせは、いっしょにつくる。ひとに健康を、まちに元気を。明治安田生命



2021 マイハピネス フォトコンテスト 応募作品「おめかししても、いつもと同じ」（渡辺絵美さま・神奈川県）